社会福祉法人 横浜市社会事業協会 機関紙（第26号）

シンフォニー

就労継続支援B型事業

～ うるおい南 ＆ CafeTurtle 特集 ～

もくじ

ご挨拶　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

特集～うるおい南～　・・・・・・・・・・・・P2

特集～CafeTurtle～　・・・・・・・・・・・・P5

令和３年度事業報告・決算書・・・・・・P10

令和４年度事業計画・資金収支予算書・・P14

ご 挨 拶

社会福祉法人　横浜市社会事業協会
理事長　佐々木寛志

新型コロナウイルスの感染は「第８波」にも及び、なかなか終息が見えてきません。当法人でも、昨年夏の「第７波」では、ご利用者、職員、ご家族などの感染や濃厚接触の報告が相次ぎました。感染防止対策にもかかわらず集団感染が発生した施設や、感染状況により余儀なく事業の一時休止をした施設もありました。それらの施設では、所長と職員が力を合わせ、文字通り適宜・適切な対応に奮闘して、危機管理能力を発揮しました。所長・職員の頑張りに敬意を表したいと思います。

各事業所では横浜市をはじめ関係機関のご支援をいただきました。たとえば、集団感染の施設で空気感染対策マスクが不足したときには、横浜市健康福祉局から急遽在庫を提供いただきました。また、ご利用者が利用していた他の法人事業所には当法人から直ちに連絡を入れ、迅速に対応いただきました。ご協力をいただいた関係機関、ご理解をいただいたご利用者に改めて感謝します。

一方、施設の現場では、非番ながら快く応援出勤を買って出た職員もあり、あるいは、事業所間で不足する感染予防資材を融通し合うなど、臨機応変な対応もありました。本部事務局は、度重なる感染報告に昼夜休日を問わず、各事業所との連携・サポートに努めました。平常時とは異なる厳しい職場状況において、職員一人ひとりが自分の役割を考え、それを果たすこと、また、職場チームの一員として皆が力を合わせ、チームワークで仕事に取り組むことの大切さを実感することとなりました。

コロナ禍でのこうした対応は、ご利用者への支援・サービスを安全に継続したいという職員の思いと責任感に根差したものです。日々の仕事で培われる職員一人ひとりの職務知識や経験が力を発揮します。日ごろの職場の良好なコミュニケーションも重要です。これからも職員がより良い仕事をしていくための条件整備として、当法人としては、働きやすい職場環境づくりはもとより、内外の研修実施や資格取得の支援、休暇取得やリフレッシュ制度の充実、職員の心身のサポートや給与等の処遇改善などに取り組んでいきます。

当法人の各施設では、今後とも感染症対策に細心の注意を払い、ご利用者に安心していただける、良好なサービスを安定的に提供できるように努めてまいります。皆さまの変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

就労継続支援Ｂ型事業うるおい南

●事業所紹介

令和４年４月に、横浜市から南福祉授産所の運営を引き継ぎ開所しました。主に知的障害をお持ちの方を対象とした施設です。働く場の提供はもちろんのこと、一人ひとりの生活を尊重した日常の相談と関係機関との連携を図ることで、ご利用者・ご家族共に充実した生活が送れるように支援を行っています。ご利用者が経済的にも精神的にもゆとりのある生活が送れるように、「うるおい南」という名前になりました。

～作業室～

目指せ工賃３万円！！

●作業紹介

お菓子の箱折りなどの施設内作業、公園清掃を中心とした施設外作業を行っています。「仕事」としての意識を高め、自立への動機づけを行うことで、地域や人の役に立てていることの実感を持ってもらえるよう支援しています。

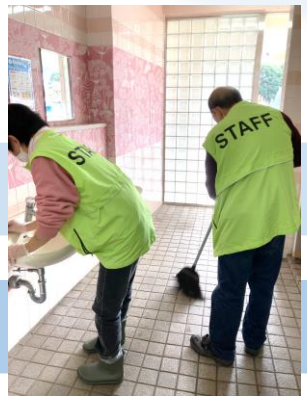
施設内作業

箱折り作業、点字刻印作業、補聴器の部品カウント・袋詰め作業、通販サイトの委託作業を行っています。
ご利用者それぞれの性格・障害特性に合った作業・作業場を提供しており、体調や状況変化にすぐに対応できるよう各作業部屋に職員を配置し、ご利用者が安心して作業に取り組める環境づくりに努めています。

施設外作業

公園の外周清掃や、公園内のトイレ清掃を行っています。
公園を利用される方や地域の方々と直接関わり、外部の方の評価をもらうことで、ご利用者のモチベーションにつながり、就労ステップを見出す機会になることを考えています。

～施設内作業～
箱折り作業をしています



～施設外作業～
公園内のトイレ清掃

～事務所～
白基調の空間です

●ご利用者の一日

8：30　通所開始

白衣に着替え、朝礼が始まるまで職員やご利用者同士でお話して過ごされています

9：00　朝礼

9：05　ラジオ体操

感染予防！前向き黙食

9：10　作業開始

～食堂～

12：00　昼休み

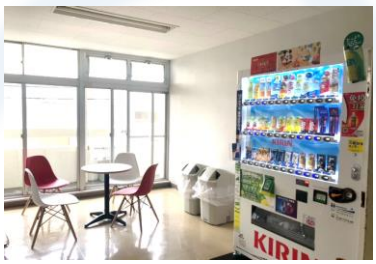
13：00　作業開始

15：00　作業終了・掃除

割り振られた場所の掃除を行います

15：30　終礼

玄関で職員がご利用者の皆さんをねぎらい見送ります



～カフェスペース～

休憩時間の憩いの場

～事業所外観～

～職員集合～

うるおい南 職員インタビュー：北川係長

Q. 今までのご経歴を教えてください。

A. 学校卒業後にアパレル企業に就職し、店長を経験しながら約11年アパレル業界で働いていました。福祉の業界は今年で14年目になりますね。簑沢地域ケアプラザで３年、中央浩生館で３年、多機能型事業所インカルで７年働き、今年からうるおい南で働いています。

Q. 福祉の仕事に携わろうと思ったきっかけはありますか。

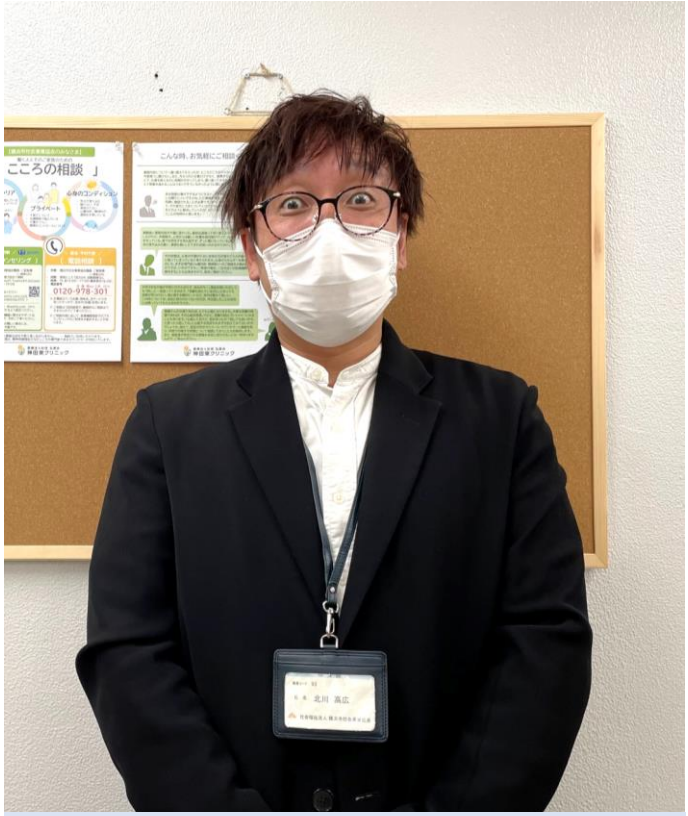
A. いとこが重度の知的障害を持っているので、叔父や叔母の困りごとを小さい頃から目の当たりにしており、生活の近しいところにずっと福祉がありました。なので、福祉の問題点や気になるところに自分も手を携えられたらと考えて、福祉の道に転職を決意しました。

Q. ご利用者と関わる中で、どのようなことを感じていますか。

A. うるおい南は知的障害をお持ちの方が対象ということもあり、言葉での表現が上手くできない方も多く、気持ちの波や困りごとを理解することが少し難しいと感じています。ご家族との関わりも、ご家庭ごとに生活スタイルや考え方が全く異なっているので、個別化した支援をすることに苦労することがありますね。ですが、元々人とコミュニケーションを取ることが好きで接客業をしていたこともあり、楽しみながら関わることができています。

Q. 作業を請け負う上で、意識している点はありますか。

A. 立ち上げ当初は、作業単価よりも作業量を重視して請け負っていました。「作業が無いからご利用者が何もしないで過ごす」というのでは意味が無いと思うので、まずは活動として来られる環境作りを意識していました。また、ご利用者それぞれの能力に合った作業ができるように、作業種類を増やすこと、細分化できる作業を請け負うことを考えていました。最近は工賃アップ・維持を目指すために作業単価も意識して、一つひとつ単価交渉も行っています。



ご家族の困りごとにも寄り添える
施設でありたいと心がけています

Q. うるおい南の魅力を教えてください！

A. ご利用者に寄り添うというのはどこの施設でも大切にしていると思いますけれど、うるおい南はご家族の困りごとにも寄り添える施設でありたいと心がけています。ご家族の方に目が向くというのは、僕自身の特性であり得意なことでもあるんです。あとは、スタッフの約4割が障害者雇用ということですね。こうして働くこともできるんだ、という期待につながるという点で魅力的なところだと思います。
今後は、ご利用者の方々が永続的に活動する場所ではなく、次の目標とか、より豊かな生活にするためのステップアップの場になれたら良いなと考えています。ここが終着ではなく、当法人の理念にもある「架け橋」に近い施設になりたいと思っています。ちょっと綺麗すぎますかね(笑)

就労継続支援Ｂ型事業 CafeTurtle

●事業所紹介

令和３年１０月に、ＪＲ大口駅より徒歩５分の立地に開所しました。法人では初となる飲食店を構える事業所です。ご利用者がお店で働く経験を通して地域の皆様と繋がりながら、それぞれに希望する生活を目指していけるように支援をしています。CafeTurtle（カフェタートル）は、「亀のようにゆったりと過ごしていただきたい」「地域に長く根付くことができるように」という願いから名付けられました。

広々とした
キッズスペースもあります！

～店内～

●作業紹介

午前の部と午後の部に分かれて活動しています。
各ご利用者の体調や生活のペースに合わせて、
通所時間を短くしたり、一日通所にするなどの調整をしています。

厨房業務

調理の下準備やお客様からのオーダーが入った際の調理を皆で分担して行っています。また、洗い物や厨房内の清掃なども行います。

接客業務

ホールでの接客業務になります。お客様のお出迎えから始まり、オーダーをとって料理の配膳、帰られた後の下膳や片付けまでの一連の流れを皆で分担して行っています。開店準備・閉店後の清掃なども行います。

軽作業

厨房業務や接客業務の合間に軽作業を行います。主な作業はコーヒー豆のハンドピック（悪い豆を手で取り除く作業）になります。ハンドピックは、美味しい自家焙煎コーヒーをお客様に提供するための大切な作業の一つです。その他、箸袋やコースターの作成、チラシ折りなどその都度必要に応じた作業を行っています。

～厨房～
こちらで調理します

～調理台～
ホットサンドを作っています

～ホール～
接客しています

●ご利用者の一日

9：00　午前の部 作業開始

9：30　朝礼

10：00　CafeTurtle 開店

12：00　午後の部 作業開始

13：00　午前の部 作業終了

15：30　ラストオーダー

16：00　CafeTurtle 閉店

午後の部 作業終了

午前、午後ともに１時間ごとに１０分休憩をとります

一日通所の場合は１２時～１３時が昼休みです
希望の方には食事提供（まかない）があります

～調理中～

ローストビーフ丼を
作っています！

～甘味ショーケース～

～職員集合～

●CafeTurtle 職員インタビュー：下向職員

Q. 今までのご経歴を教えてください。

A. 栄養士の専門学校を卒業後、特別養護老人ホームの栄養士として食事の提供、メニュー作り、発注作業などをしていました。老人ホームで働きながら製菓学校に通い、卒業後、町のパティスリーやカフェでケーキ製造、販売や仕入れ、接客など6年ほどパティシエとして働き、結婚を機に退職しました。子どもが幼稚園に通うようになると、学校給食で提供するパン工房の製造補助やクリスマスケーキの製造を行っていました。

Q. 福祉の仕事に携わろうと思ったきっかけはありますか。

A. 障害を抱える親族の存在や、障害を持つ知人と子供の頃から関わる機会があり、何か私にできることがあるだろうか、力になれるだろうかという思いがありました。Cafe Turtle がオープンする話を聞いた時、カフェで働いた経験を活かして、ご利用者のサポートができるのではないかと思いました。

Q. ご利用者と関わる中で、どのようなことを感じていますか。

A. オープニングスタッフという形で携わらせていただき、何もかもが一から手探り状態でしたが、色々な方と接することができ、日々学ばせて頂いています。自分は当たり前にできると思っていたことでも、ご利用者のその日の体調や得意不得意でできることが変わるため、日々作業の調整を行っています。今までできていなかったことができるようになることや、今日も楽しかったなどのご利用者からの声掛けがとても嬉しいです。

Q. カフェのメニュー開発で、意識している点はありますか。

A. ご利用者が安全に簡単に作業ができるよう調理工程を単純にしたり、計量しやすいように分量計算をしたり、試行錯誤しています。配膳の時にセットしたトレーをそのままお客様へ運べるように準備するなど、ご利用者それぞれのできることを把握し、工夫しています。

安全に簡単に作業ができるよう、
ご利用者それぞれの出来ることを
把握し、工夫しています

Q. CafeTurtle の魅力を教えてください！

A. 女性職員が中心で明るい雰囲気の事業所です。カフェ自体も穏やかでのんびりした空間になっていて、お子様連れの方にも気軽にご利用いただけるようキッズスペースもあり、ベビーカーのままでもご利用いただけます。カフェメニューのお勧めは、和牛ローストビーフ丼です。お肉たっぷり 1,000 円でご提供しています。甘味はやわらか食感のなめらかプリンや濃厚抹茶を味わえる抹茶ババロアなどがお勧めです。コーヒー豆にもこだわり、オーガニックのニカラグアの豆を使用しています。ご利用者が一粒一粒豆の皮を取り除く作業をして厳選した自家焙煎のコーヒー豆です。100%リンゴジュースもとっても美味しいですよ。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

美味しい自家焙煎コーヒー

社会福祉法人　横浜市社会事業協会　就労継続支援 B 型事業

Café Turtle

【アクセス】

〒221-0015

横浜市神奈川区神之木町 9-5

1 F　CafeTurtle

JR 横浜線「大口」駅東口より
徒歩 5 分

＊営業日：月曜～金曜日（祝日を除く）

＊時間　：10:00～16:00

（ラストオーダー：15:30）

TEL：045-716-9621　Email：cafe-turtle@ysjk.jp

店内は広く、落ち着いた雰囲気★

FreeWi-Fi
あります

お子様連れでも安心★
キッズスペースも完備

Instagram(インスタグラム) 開設しました★

【最新情報】【本日の日替りデザート】

【お得な情報】など更新予定です★

ぜひフォローをお願いいたします

CAFETURTLE118

貸切のお問い合わせはコチラ

会議

イベントに

ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ、ｽｸﾘｰﾝの貸出無料★

【ホットサンド（スープ・サラダ付き）】

- 鶏肉のキーマカレー … 500 円
- やわらか蒸し鶏とチーズ … 500 円
- 王道ハムチーズ … 400 円
- 懐かしのあんバター … 400 円

【お飲み物】

※☆印のお飲み物は、お食事と甘味に＋200 円でセットにできます

※テイクアウトもできます（クリームソーダを除く）

☆自家焙煎コーヒー（ﾎｯﾄ･ｱｲｽ） … 350 円

- カフェ･オレ(ﾎｯﾄ･ｱｲｽ) … 400 円

☆紅茶 … 300 円

☆アールグレイアイスティー … 300 円

☆ほうじ茶(ﾎｯﾄ) … 300 円

- クリームソーダ … 450 円

☆リンゴジュース … 300 円

- コーラ、カルピス … 200 円

【お食事（スープ・サラダ付き）】

- 黒毛和牛のローストビーフ丼 …1000 円
- お子様セット（小学生以下のみ） … 500 円

【甘味】 ※日替り商品です

※テイクアウトもできます（白玉ぜんざい、アイスクリームを除く）

- ふんわり抹茶シフォン … 350 円
- ベイクドチーズケーキ … 400 円
- 深煎りコーヒーゼリー … 300 円
- 白玉ぜんざい（温） … 350 円
- アイスクリーム … 250 円
- 黒ごまババロア … 300 円
- まっちゃババロア … 300 円
- なめらかプリン … 300 円

すべて**税込表示**となっております

※2022 年 12 月時点のメニュー・価格です

令和３年度事業報告(抜粋)

重点目標に対しての達成状況
① 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築 職員の心身のリフレッシュの機会を増やすため、夏季休暇及びリフレッシュ休暇新設の検討を行った。結果、令和４年度より制度の運用が開始されることとなった。 ② 法人本部の機能強化 本部事務局の経理部門を拡充し、事業所で分散実施している経理業務を集約するため、令和３年度は横浜市大岡地域ケアプラザ、横浜市簑沢地域ケアプラザの経理事務を本部事務局に移管した。また、新規事業所 CafeTurtle の経理事務も本部所管とした。 ③ 職員採用・定着支援の強化 ● コロナ禍での環境に対応し、オンライン主体の採用活動を行った結果、令和４年４月１日付で８人の新卒学生の採用に至った。 ● 新卒の新採用職員に対しては、定期的な面接及び２か月に一度の集合研修を実施、きめ細やかな定着支援を行った。 ④ 健康経営の推進 ● よこはまウォーキングポイントに事業所単位で参加し、歩くことによる健康づくりを勧奨した。 ● EAP 事業者と契約、法人外相談窓口を確保するとともに、月１回の「こころの通信」を発行し、心の健康づくりについて職員のサポートを行った。 ● 職員の健康課題に即した取り組みを行い、職員の健康づくりをフォローした。その結果、令和４年度横浜市健康経営認証 AAA を取得した。 ● 令和１年度に開始したクラブ活動の支援制度の利用促進を行い、公私の充実を支援した。令和３年度は、駅伝部メンバーが FM ヨコハママラソンに出場した。 ⑤ 法人内部での情報アクセス・情報発信の強化 諸手続きの方法や、福利厚生制度などを見える化するため、FAQ を整備した。 ⑥ 行動指針・倫理綱領の見直し 行動指針・倫理綱領見直しのための検討を行った。結果、倫理綱領は５項目から 15 項目に増やし、内容も詳細なものができた。令和４年度より運用を開始する。 ⑦ IT 推進室 時間外勤務、年次有給休暇取得状況を見える化し、適切な働き方を担保するため、法人統一の勤怠管理システムの試験運用を行った。令和４年度よりシステムの本稼働を開始する。 ⑧ 新規事業所の開設 就労継続支援 B 型事業所 CafeTurtle を 10 月１日付で開所した。開所後、店舗としての運営に向けて、メニューの検討、接客の研修等を経て、１月 18 日に開店した。

令和３年度決算書

法人単位資金収支計算書
（自）令和 3年 4月 1日（至）令和 4年 3月31日

（単位：円）

勘　定　科　目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	250,604,000	229,480,665	21,123,335
		指定管理料収入	411,462,000	355,293,781	56,168,219
		就労支援事業収入	31,262,000	16,220,708	15,041,292
		障害福祉サービス等事業収入	1,818,979,000	1,796,413,661	22,565,339
		生活保護事業収入	16,900,000	13,484,317	3,415,683
		医療事業収入	70,161,000	61,626,955	8,534,045
		その他の事業収入	1,100,000	449,050	650,950
		経常経費寄附金収入	0	40,000	-40,000
		受取利息配当金収入	2,294,120	1,834,099	460,021
		その他の収入	14,047,000	19,202,423	-5,155,423
		事業活動収入計(1)	2,616,809,120	2,494,045,659	122,763,461
	支出	人件費支出	1,831,549,000	1,723,942,699	107,606,301
		事業費支出	206,532,000	197,495,249	9,036,751
		事務費支出	397,142,000	367,790,846	29,351,154
		就労支援事業支出	30,600,000	29,234,432	1,365,568
		その他の支出	294,000	1,008,000	-714,000
		支払利息支出	743,000	770,433	-27,433
		その他の支出	4,910,000	7,228,132	-2,318,132
		事業活動支出計(2)	2,471,770,000	2,327,469,791	144,300,209
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		145,039,120	166,575,868	-21,536,748
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	1,000,000	5,600,000	-4,600,000
		固定資産売却収入	0	49,360	-49,360
		施設整備等収入計(4)	1,000,000	5,649,360	-4,649,360
	支出	設備資金借入金元金償還支出	7,520,000	7,520,000	0
		固定資産取得支出	34,816,000	32,513,135	2,302,865
		固定資産除却・廃棄支出	300,000	0	300,000
		ファイナンス・リース債務の返済支出	37,996,000	38,688,623	-692,623
		施設整備等支出計(5)	80,632,000	78,721,758	1,910,242
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-79,632,000	-73,072,398	-6,559,602
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,805,000	4,018,182	-2,213,182
		拠点区分間長期借入金収入	48,150,000	0	48,150,000
		事業区分間繰入金収入	3,756,000	0	3,756,000
		拠点区分間繰入金収入	233,389,000	0	233,389,000
		サービス区分間繰入金収入	19,005,000	0	19,005,000
		その他の活動による収入計(7)	306,105,000	4,018,182	302,086,818
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	36,804,000	36,804,000	0
		積立資産支出	17,559,000	24,771,502	-7,212,502
		拠点区分間長期貸付金支出	48,150,000	0	48,150,000
		事業区分間繰入金支出	3,756,000	0	3,756,000
		拠点区分間繰入金支出	233,389,000	0	233,389,000
		サービス区分間繰入金支出	19,005,000	0	19,005,000
		その他の活動支出計(8)	358,663,000	61,575,502	297,087,498
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-52,558,000	-57,557,320	4,999,320
予備費支出(10)			0	—	0
			0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			12,849,120	35,946,150	-23,097,030
前期末支払資金残高(12)			0	829,293,942	-829,293,942
当期末支払資金残高(11)+(12)			12,849,120	865,240,092	-852,390,972

法人単位事業活動計算書

（自）令和 3年 4月 1日（至）令和 4年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	229,480,665	232,318,993	-2,838,328
		指定管理料収益	355,293,781	365,465,786	-10,172,005
		就労支援事業収益	16,220,708	11,722,165	4,498,543
		障害福祉サービス等事業収益	1,796,413,661	1,704,918,486	91,495,175
		生活保護事業収益	13,484,317	16,815,197	-3,330,880
		医療事業収益	61,626,955	55,359,842	6,267,113
		その他の事業収益	449,050	2,072,900	-1,623,850
		経常経費寄附金収益	40,000	60,000	-20,000
		サービス活動収益計(1)	2,473,009,137	2,388,733,369	84,275,768
	費用	人件費	1,742,100,507	1,647,442,750	94,657,757
		事業費	197,495,249	195,223,512	2,271,737
		事務費	367,790,846	355,833,123	11,957,723
		就労支援事業費用	29,302,513	26,117,357	3,185,156
		減価償却費	111,416,177	123,239,452	-11,823,275
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-28,178,853	-33,032,333	4,853,480
		徴収不能額	0	133,937	-133,937
		サービス活動費用計(2)	2,419,926,439	2,314,957,798	104,968,641
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		53,082,698	73,775,571	-20,692,873
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,834,099	1,925,295	-91,196
		その他のサービス活動外収益	19,202,423	39,691,885	-20,489,462
		サービス活動外収益計(4)	21,036,522	41,617,180	-20,580,658
	費用	支払利息	770,433	1,032,074	-261,641
		その他のサービス活動外費用	7,228,132	26,938,792	-19,710,660
		サービス活動外費用計(5)	7,998,565	27,970,866	-19,972,301
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		13,037,957	13,646,314	-608,357
経常増減差額(7)=(3)+(6)			66,120,655	87,421,885	-21,301,230
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	5,600,000	1,462,000	4,138,000
		固定資産売却益	30,000	536,297	-506,297
		特別収益計(8)	5,630,000	1,998,297	3,631,703
	費用	固定資産売却損・処分損	6	758,466	-758,460
		国庫補助金等特別積立金積立額	5,600,000	4,462,000	1,138,000
		特別費用計(9)	5,600,006	5,220,466	379,540
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		29,994	-3,222,169	3,252,163
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			66,150,649	84,199,716	-18,049,067
法人税、住民税及び事業税(12)			0	0	0
法人税等調整額(13)			0	0	0
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)			66,150,649	84,199,716	-18,049,067
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)		732,793,877	665,939,174	66,854,703
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)		798,944,526	750,138,890	48,805,636
	基本金取崩額(17)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)		495,000	495,000	0
	その他の積立金積立額(19)		4,040,012	17,840,013	-13,800,001
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)		795,399,514	732,793,877	62,605,637

法人単位貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

（単位：円）

資　産　の　部			
	当年度末	前年度末	増　減
流動資産	962,816,550	921,246,102	41,570,448
現金預金	594,854,611	591,609,421	3,245,190
事業未収金	351,623,038	319,113,113	32,509,925
貯蔵品	0	2,000	-2,000
診療・療養費等材料	197,805	265,886	-68,081
立替金	7,354,008	1,919,179	5,434,829
前払金	8,404,822	8,325,523	79,299
仮払金	382,266	10,980	371,286
固定資産	1,579,732,275	1,598,118,291	-18,386,016
基本財産	733,267,106	776,281,728	-43,014,622
建物	633,267,106	676,281,728	-43,014,622
定期預金	831,233	831,233	0
投資有価証券	99,168,767	99,168,767	0
その他の固定資産	846,465,169	821,836,563	24,628,606
建物	13,752,368	11,637,597	2,114,771
構築物	2,208,903	1,225,300	983,603
機械及び装置	22,028,341	14,788,219	7,240,122
車輌運搬具	21	787,388	-787,367
器具及び備品	59,374,895	64,820,893	-5,445,998
有形リース資産	71,362,580	75,074,885	-3,712,305
権利	8,357,076	8,498,178	-141,102
ソフトウェア	6,349,298	8,570,216	-2,220,918
無形リース資産	22,248,406	13,627,878	8,620,528
退職給付引当資産	157,134,750	142,702,490	14,432,260
措置施設繰越特定積立資産	33,400,000	33,400,000	0
移行時特別積立資産	37,899,221	37,899,221	0
その他の積立資産	3,600,000	0	3,600,000
介護施設等積立資産	5,107,395	4,867,395	240,000
施設整備等積立資産	399,891,462	400,186,450	-294,988
その他の固定資産	3,750,453	3,750,453	0
資産の部合計	2,542,548,825	2,519,364,393	23,184,432

負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増　減
流動負債	250,518,721	251,089,651	-570,930
事業未払金	62,978,321	52,842,940	10,135,381
1年以内返済予定設備資金借入金	5,520,000	5,520,000	0
1年以内返済予定長期運営資金借入金	30,949,000	36,804,000	-5,855,000
1年以内返済予定リース債務	23,696,568	24,634,377	-937,809
1年以内支払予定長期未払金	1,008,000	1,008,000	0
未払費用	2,714,188	9,307,815	-6,593,627
預り金	286,021	476,459	-190,438
職員預り金	31,386,216	29,044,440	2,341,776
仮受金	13,907	14,620	-713
賞与引当金	91,966,500	91,437,000	529,500
固定負債	371,456,502	391,272,936	-19,816,434
設備資金借入金	104,060,000	111,580,000	-7,520,000
長期運営資金借入金	39,800,000	70,749,000	-30,949,000
リース債務	68,247,752	63,439,446	4,808,306
退職給付引当金	157,134,750	142,702,490	14,432,260
長期未払金	1,344,000	2,352,000	-1,008,000
長期預り金	870,000	450,000	420,000
負債の部合計	621,975,223	642,362,587	-20,387,364
純　資　産　の　部			
基本金	194,327,380	194,327,380	0
基本金	194,327,380	194,327,380	0
国庫補助金等特別積立金	450,948,630	473,527,483	-22,578,853
国庫補助金等特別積立金	450,948,630	473,527,483	-22,578,853
その他の積立金	479,898,078	476,353,066	3,545,012
その他の積立金	3,600,000	0	3,600,000
移行時特別積立金	37,899,221	37,899,221	0
人件費積立金	33,400,000	33,400,000	0
介護施設等積立金	5,107,395	4,867,395	240,000
施設整備等積立金	399,891,462	400,186,450	-294,988
次期繰越活動増減差額	795,399,514	732,793,877	62,605,637
次期繰越活動増減差額	795,399,514	732,793,877	62,605,637
（うち当期活動増減差額）	66,150,649	84,199,716	-18,049,067
純資産の部合計	1,920,573,602	1,877,001,806	43,571,796
負債及び純資産の部合計	2,542,548,825	2,519,364,393	23,184,432

令和４年度事業計画(抜粋)

基本方針
令和４年度は、法人新 10 年プランの３年目になる。新 10 年プランで示されている４つの柱「安全、安心で快適なサービスの提供」「地域への貢献、福祉ニーズへの対応」「経営の安定とサービスの向上」「人材の育成、働きやすい職場づくり」に即して、必要な対応を行う。
重点目標
① 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築 ② 法人本部の機能強化 ③ ガバナンスの強化 ④ 職員採用・定着支援の強化 ⑤ 健康経営の推進 ⑥ 法人内部での情報アクセス・情報発信の強化 ⑦ 災害への備えの強化 ⑧ 勤怠管理システムの導入
目標達成のための対応策
① 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築 ● 出生時育児休業制度(産後パパ育休)を導入する。 ② 本部事務局の機能強化 本部事務局の経理部門を拡充し、事業所で分散実施している経理業務を集約する。 ③ ガバナンスの強化 公益通報者保護法改正に基づき、内部通報に対応するために体制の整備を行う。 ④ 職員採用・定着支援の強化 ● 採用を高校卒にも広げるため、高校訪問に着手する。 ⑤ 健康経営の推進 ● よこはまウォーキングポイントに事業所単位で参加し、健康づくりを勧奨する。 ● 泉区駅伝大会参加など、スポーツによる健康づくりを勧奨する。 ● 心の健康づくりについて、職員のサポートを行う。 ⑥ 法人内部での情報アクセス・情報発信の強化 FAQ を適宜更新し、職員の情報アクセスをより向上させる。 ⑦ 災害への備えの強化 神奈川県と協定に基づき、神奈川 DWAT(災害派遣福祉チーム)への登録研修に職員を派遣し、災害支援に関するノウハウの蓄積を行う。 ⑧ 勤怠管理システムの導入 法人統一の勤怠管理システムを、全事業所で運用を開始する。

令和４年度資金収支予算書

資　金　収　支　当　初　予　算

令和 4年 4月 1日

（単位：円）

勘　定　科　目			前年度予算額	当初予算額	増　減
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	250,604,000	249,496,000	-1,108,000
		指定管理料収入	411,462,000	407,495,000	-3,967,000
		就労支援事業収入	31,262,000	41,519,000	10,257,000
		障害福祉サービス等事業収入	1,459,293,000	1,937,551,000	478,258,000
		生活保護事業収入	16,900,000	16,500,000	-400,000
		医療事業収入	70,161,000	83,625,000	13,464,000
		その他の事業収入	500,000	600,000	100,000
		受取利息配当金収入	2,293,120	2,156,120	-137,000
		その他の収入	11,361,000	14,276,000	2,915,000
		事業活動収入計(1)	2,253,836,120	2,753,218,120	499,382,000
	支出	人件費支出	1,555,639,000	1,971,397,000	415,758,000
		事業費支出	194,092,000	211,501,000	17,409,000
		事務費支出	356,559,000	401,129,000	44,570,000
		就労支援事業支出	30,600,000	41,200,000	10,600,000
		その他の支出	294,000	294,000	0
		支払利息支出	10,000	506,000	496,000
		その他の支出	3,264,000	4,968,000	1,704,000
		事業活動支出計(2)	2,140,458,000	2,630,995,000	490,537,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		113,378,120	122,223,120	8,845,000
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	1,000,000	1,000,000
		施設整備等収入計(4)	0	1,000,000	1,000,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	0	7,520,000	7,520,000
		固定資産取得支出	34,616,000	25,345,000	-9,271,000
		固定資産除却・廃棄支出	300,000	200,000	-100,000
		ファイナンス・リース債務の返済支出	29,128,000	39,552,000	10,424,000
		施設整備等支出計(5)	64,044,000	72,617,000	8,573,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-64,044,000	-71,617,000	-7,573,000
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,805,000	0	-1,805,000
		拠点区分間長期借入金収入	11,150,000	14,000,000	2,850,000
		事業区分間繰入金収入	3,756,000	2,871,000	-885,000
		拠点区分間繰入金収入	224,871,000	250,201,000	25,330,000
		サービス区分間繰入金収入	19,005,000	19,008,000	3,000
		その他の活動による収入計(7)	260,587,000	286,080,000	25,493,000
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	0	30,949,000	30,949,000
		積立資産支出	13,259,000	29,204,000	15,945,000
		拠点区分間長期貸付金支出	48,150,000	14,000,000	-34,150,000
		事業区分間繰入金支出	3,756,000	2,871,000	-885,000
		拠点区分間繰入金支出	212,319,000	250,201,000	37,882,000
		サービス区分間繰入金支出	19,005,000	19,008,000	3,000
		その他の活動支出計(8)	296,489,000	346,233,000	49,744,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-35,902,000	-60,153,000	-24,251,000
予備費支出(10)			0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			13,432,120	-9,546,880	-22,979,000
前期末支払資金残高(12)			0	0	0
当期末支払資金残高(11)+(12)			13,432,120	-9,546,880	-22,979,000

シンフォニー第 26 号　令和 5 年 2 月発行

発行元／社会福祉法人 横浜市社会事業協会 本部事務局
横浜市泉区中田東 3-15-2 中田町センタービル 202

印刷／就労継続支援 A 型事業 アテイン